

内房小かていがくしゅうのすすめ

R 6. 2 改訂

【かていがくしゅうの ねらい】

- ・がくしゅうのしゅうかんをみにつける。
- ・がくしゅうしたことをしっかりみにつける。
- ・こつこつとがんばるころをそだてる。
- ・かていがくしゅうでみにつけたことを、じゅぎょうにいかしたり、じゅぎょうでまなんだことをにちじょうせいかつにいかしていく。

【かていがくしゅうの もくひょうじかん】

1ねんせい…20ぷん

2ねんせい…30ぷん

※もくひょうじかんのなかで、しゅうちゅうしてとりくみましょう。

<ふでばこのなかみ>

- ・えんぴつ5本(2B)
- ・あかあおえんぴつ1本
- ・けしゴム1こ
- ・じょうぎ1本

※えんぴつは、けずっておきましょう。

※したじきをつかきましょう。

【かていがくしゅうの やくそく】

- ・がくしゅうするものを、じゅんびしてから始める。
- ・ただしいえんぴつのもちかたで、ただしいしせいでがくしゅうする。
- ・テレビをけし、しずかにしゅうちゅうしてとりくむ。

	みにつけたいちから(それぞれのねらい)	おうちの方に見ていただきたいポイント
お ん ど く	<ul style="list-style-type: none"> ・きこえるこえで、はっきりとよむ。 ・、や。にきをつけてよむ。 ・つかえずによむ。 ・きもちをこめてよむ。 	<p>読み方やイントネーションの間違いがあれば訂正し、正しい読みを確認してください。</p> <p>同じ教材を何度も読みます。特に物語文では、速さや間を意識したり、気持ちを込めた読みができたりした場合は、音読カードのコメントで誉めてくださると、お子さんもやり甲斐を感じると思います。</p>
か き と り	<ul style="list-style-type: none"> ・ならったかんじをかき、かきじゅんもおぼえてただしくかく。 ・ていねいにじをかく。 ・まちがいがないか、みなおしをする。 	<p>簡単な字でも、うっかり間違えて覚えたままになってしまう場合があります。</p> <p>学校でも十分気を付けて見取るので、ていねいに書いているか、正しく書けているか確認し、間違いがあれば直すよう声を掛けてください。</p>
さん す う	<ul style="list-style-type: none"> ・ただしくけいさんする。 ・がくしゅうしたことのふくしゅうをする。 ・にがてなもんだいにとりくむ。 	<p>計算ドリルのように解答がある場合は、<u>○付けをお願いします</u>。その際、<u>分からない問題</u>がないか確認し、あれば翌日担任に解き方を聞くよう声を掛けてくださるとありがたいです。学校では、休み時間などに、分からなかったポイントを個別に指導します。</p>